

工事名称 **横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事**

図面リスト

図番	図面名称	縮尺
M-01	図面リスト・仕様書・凡例	-
M-02	工事区分表・案内図・配置図	A1:1/1,000、10,000 A3:1/2,000、20,000
M-03	空調設備機器表(改修・撤去)	-
M-04	空調設備平面図(改修)	A1:1/100 A3:1/200
M-05	空調設備平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200
M-06	屋外機廻り改修図	A1:1/50 A3:1/100
M-07	仮設計画図(参考)	A1:1/100 A3:1/200
E-01	空調電源設備配置図	A1:1/250 A3:1/500
E-02	空調電源設備平面図(改修)	A1:1/50、1/100 A3:1/100、1/200

仕様書

1 工事概要

(1) 空調設備
本工事は本校舎研究推進部系統の水蓄熱ビル用マルチエアコンをビル用マルチエアコンに更新する。
上記に伴い、機器の設置・配管・ダクト・計装工事の再接続を行う。(機器以外は再使用)
また、中央監視設備調整として、以下の手順を行う。
ア 中央監視室において他系統の部屋のエアコンの操作・監視に支障が出ないように回線の確認を行った上で、 ダイキン工業株式会社製のビル統合監視盤(マスターステーション)からの回線を、既存の室外機から外す。
イ 更新した室外機に外した回線を接続する。
ウ 中央監視室で既存時と同様にモニターできるように更新した室外機のアドレス設定を行う。
エ 更新した室内機に対して中央監視室からの指令が反映されるかどうか、及び室内機の動作状況が中央監視室のモニターで確認できるかどうかを、対向試験を実施して確認する。
(2) 給排水設備
本工事は本校舎研究推進部系統の既存水蓄熱ビル用マルチエアコン用給排水配管の切り離しを行う。
(3) 撤去工事
本工事は本校舎研究推進部系統の既存水蓄熱ビル用マルチエアコンの機器・配管・ダクト類の撤去を行う。
(4) 電気設備
本工事は本校舎研究推進部系統の既設手元開閉器盤(5-7)以降の電源改修を行う。

2 設計図書の優先順位

設計図書等	優先順位
現場説明に対する質問回答書	1
現場説明書	2
特記仕様書(図面記載のもの及び別冊を含む。)	3
設計書及び図面	4
『横浜市建築局機械設備工事特則仕様書』(最新版) 『横浜市建築局電気設備工事特則仕様書』(最新版)	5
横浜市建築局・一般社団法人神奈川県空調衛生工業会編集 『機械設備工事施工マニュアル』(最新版) 横浜市建築局編集 『電気設備工事施工マニュアル』(最新版)	6
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)』(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)』(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)』(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)』(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修『公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)』(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修『公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)』(最新版)	7

3 一般事項

(1) 残土処分	指定処分(処分地: )
確認処分	
場内敷きならし	
なし	
(2) 発生材処分	指定処分(アスコン )
確認処分	指定処分( 処分地: )
確認処分	
塩ビ管リサイクルの指定(指定場所: )	
家電リサイクルの指定	
なし	
(3) 水道局納付金(手数料)	あり
なし	
(4) 敷地等の出入りに際しては、作業内容、人員等を報告の上、身分を明示した腕章、名札、ヘルメット等を着用する。	
(5) 構内全域を禁煙としているため、工事関係者への指導を徹底する。	
(6) 工事に際しては、関係者との十分な協議・確認の上、安全対策及び工事に支障なきよう留意する。	
(7) 工事に必要な関係官庁への打ち合わせ・確認及び届出等については延滞なくこれを行う。	
(8) 工事に際しては、事前に十分な調査を行い工事中及び竣工後、施設運営に支障なきよう留意する。	

4 特記事項

(1) 図中における空調機器などのメーカー型番、商品名等は参考として記載したものである。
(2) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。
(3) 電力消費量、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
(4) 屋外露出に使用する支持金物及びアンカーボルトは全てステンレス製(SUS304)とする。
(5) 設置する機器等は、グリーン購入法適合品とする。(対象品目に対して)

凡例

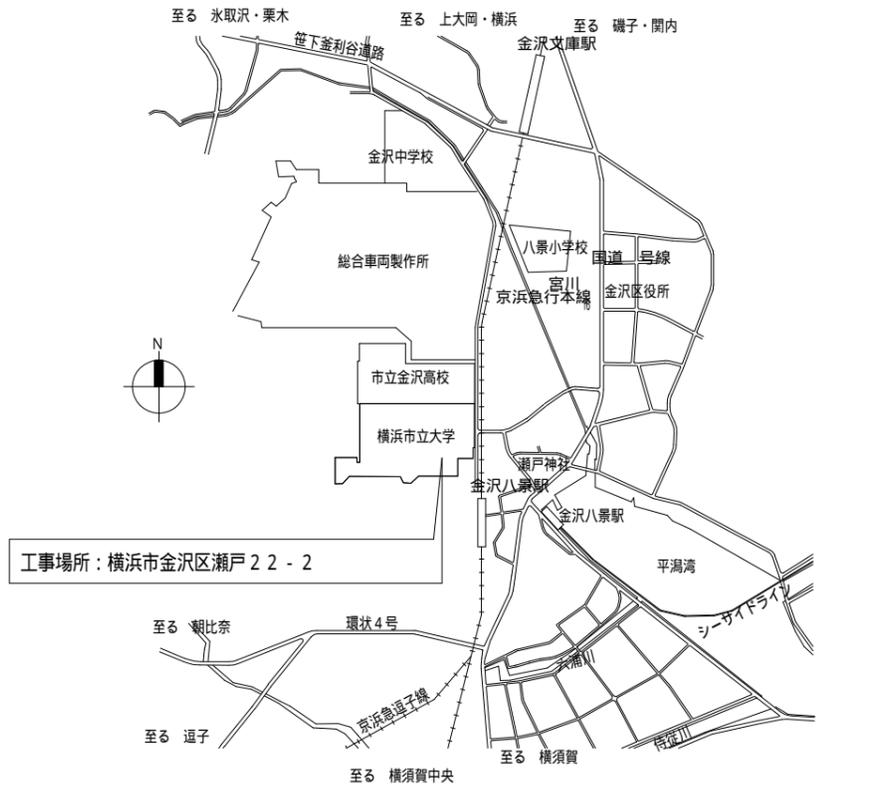
記号	名称	接続方法・備考
———	給水管	VA:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(JWWA K 116) VB:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(JWWA K 116) VD:水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(JWWA K 116)
——— (排水)	排水管	VP、VU:硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741)
——— (通気)	通気管	FDP:耐火二層管 V P (HASS206)
———	GV:仕切弁	
———	BAV:ボール弁	
———	CV:逆止弁	
⊗ ⊘ ⊙	水栓(水・混合・湯)	単水栓は節水こま
⊕	床上掃除口	
□ ○	汚水樹 (コンクリート樹・小口径樹)	
Ⓡ	空調機リモコン	
——— R ——	冷媒管	断熱材被覆鋼管
——— D ——	空調ドレン管	保温付塩化ビニル管
——— DS ——	冷温水管(往)	ステンレス鋼管(既設)
——— DR ——	冷温水管(還)	ステンレス鋼管(既設)
——— SA ——	給気ダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
——— RA ——	送気ダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
——— OA ——	外気取入ダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
——— EA ——	排気ダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト
⊠	吹出口	
⊡	吸込口	
⊠	パッケージ形エアコン	
⊠	中間ダクトファン	
⊠	天井埋込換気扇	
⊘	VD:風量調整ダンパー	
⊠	VC:ベントキャップ	
⊠	PF:パイプフード	

注意 ・冷媒管の保温厚は、ガス管20m/m、液管8m/m(9.52以下)10m/m以上(12.7以上)とする。

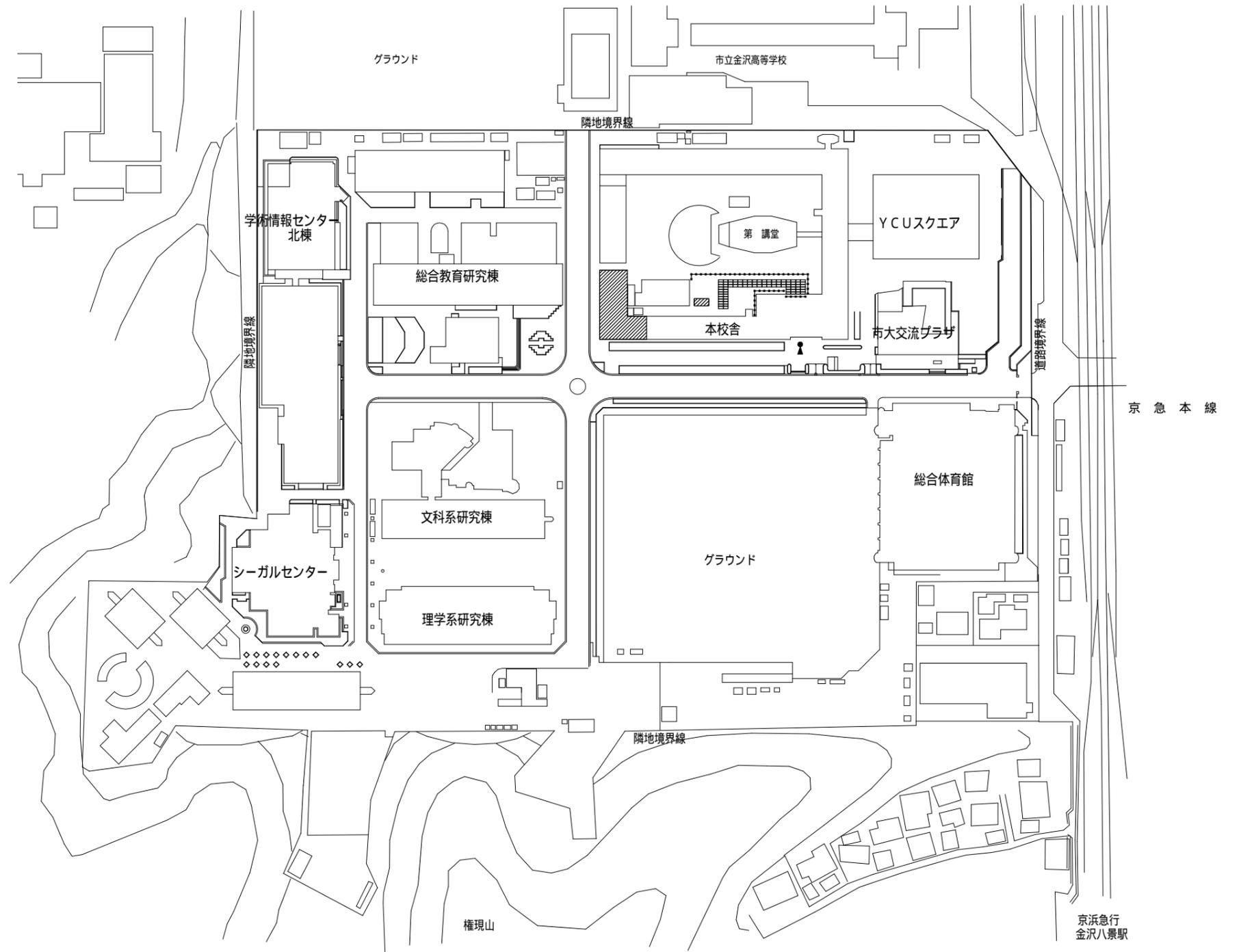
工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-01	図面リスト・仕様書・凡例	縮尺
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部	総務課施設担当

工事区分表

項目	内容	空調	電気	大学	備考
1	内部養生	○			
2	内部足場の設置	○			
3	工事搬入動線養生(バリケード・ゴムマット養生等)	○			
4	安全管理(交通誘導員等)	○			
5	屋外基礎補修及びアンカーボルト	○			
6	エアコン用配管及びダクトの新設・撤去	○			
7	エアコン用連絡線の新設及び撤去	○			
8	エアコン用制御線及び配管の新設・撤去(中央監視配線含む)	○			
9	エアコン用電源用配線及び配管の新設・撤去		○		
10	廃材運搬・処分	○			
11	工事期間中の光熱費(電気・水道)			○	



案内図 1/20000



配置図 1/2000

凡例

-  今回対象施設
-  ゴムマット養生
-  バリケード(カラーコーン・コーンバー)
-  交通誘導員

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-02 工事区分表・案内図・配置図	縮尺	A1:1/1,000-10,000 A3:1/2,000-20,000
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	

改修機器表

記号	名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			-V	kW・W	方式			
AC1	ビル用マルチエアコン (屋外機)	形式 床置形(耐塩害仕様)	3-200			1組	屋外	参考形番: ダイキン R0UP775FA 1,750×765×1,660H 351kg 1,240×765×1,660H 283kg
		冷房能力 77.5kW (冷房)	消費電力 22.8kW					
		暖房能力 90.0kW (暖房)	23.2kW					
		圧縮機 11.7kW+8.0kW						
		送風機 0.67kW×2+0.27kW×2						
		冷媒管 19.1×31.8						
防振ゴムパット、アクティブフィルター他標準付属品共								
AC11	ビル用マルチエアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			1台	倉庫	ダイキン (室内機) FXYFP56DB 840×840×246H 19.0kg
		冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW (冷房)	消費電力 0.043kW					
		冷媒管 6.4×12.7 ドレン管 25A (暖房)	0.038kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						
AC12	ビル用マルチエアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			5台	大学院講義室1 大学院講義室2 研究推進課 廊下	ダイキン (室内機) FXYFP71DB 840×840×246H 23.0kg
		冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW (冷房)	消費電力 0.072kW					
		冷媒管 9.5×15.9 ドレン管 25A (暖房)	0.068kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						
AC13	ビル用マルチエアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			3台	研究推進課	ダイキン (室内機) FXYFP80DB 840×840×246H 23.0kg
		冷房能力 8.0kW 暖房能力 9.0kW (冷房)	消費電力 0.086kW					
		冷媒管 9.5×15.9 ドレン管 25A (暖房)	0.081kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						
AC14	ビル用マルチエアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			3台	職員組合 施設担当	ダイキン (室内機) FXYFP112DB 840×840×288H 26.0kg
		冷房能力 11.2kW 暖房能力 12.5kW (冷房)	消費電力 0.217kW					
		冷媒管 9.5×15.9 ドレン管 25A (暖房)	0.207kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						

撤去機器表

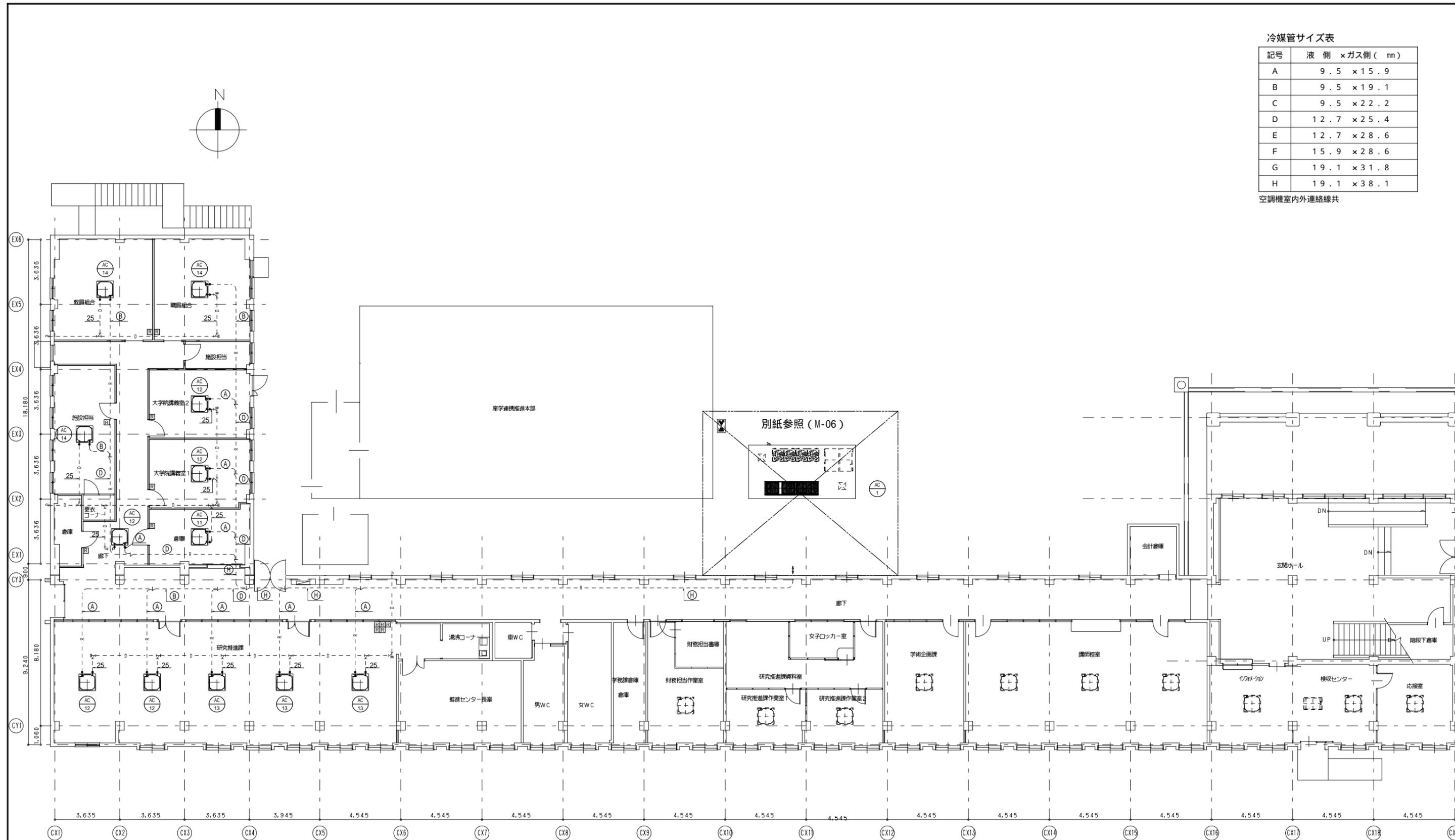
記号	名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			-V	kW・W	方式			
AC1	氷蓄熱ビル用マルチ エアコン (屋外機)	形式 床置形(28HP相当)	3-200			1組	屋外	ダイキン (屋外機) RXP800L 1,280×690×1,440H 371kg (屋外機) RXE10L 1,280×690×1,440H 105kg (氷蓄熱槽) TSSP850L 1,255×1,500×2,225H 475kg
		冷房能力 80.0kW(蓄熱利用) 71.0kW(蓄熱非利用) (蓄熱利用冷房)	消費電力 20.1kW					
		暖房能力 71.0kW (非蓄熱利用冷房)	22.4kW					
		蓄熱容量 580MJ (暖房)	19.3kW					
		圧縮機 5.5kW+9.0kW						
		送風機 0.32kW×4						
		冷媒管 19.1×38.1、19.1×38.1 (氷蓄熱・屋外機)						
給水管: 20A、排水管: 25A、オーバーフロー管: 25A、ピークカット散水装置								
AC11	氷蓄熱ビル用マルチ エアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			1台	倉庫	ダイキン (室内機) FXYFP56L 850×850×256H 29.5kg
		冷房能力 5.6kW 暖房能力 6.3kW (冷房)	消費電力 0.052kW					
		冷媒管 9.5×15.9 ドレン管 25A (暖房)	0.038kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						
AC12	氷蓄熱ビル用マルチ エアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			5台	大学院講義室1 大学院講義室2 研究推進課 廊下	ダイキン (室内機) FXYFP71L 850×850×256H 30.5kg
		冷房能力 7.1kW 暖房能力 8.0kW (冷房)	消費電力 0.066kW					
		冷媒管 9.5×15.9 ドレン管 25A (暖房)	0.053kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						
AC13	氷蓄熱ビル用マルチ エアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			3台	研究推進課	ダイキン (室内機) FXYFP80L 850×850×256H 30.5kg
		冷房能力 8.0kW 暖房能力 9.0kW (冷房)	消費電力 0.066kW					
		冷媒管 9.5×15.9 ドレン管 25A (暖房)	0.053kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						
AC14	氷蓄熱ビル用マルチ エアコン (室内機)	形式 天井埋込カセット形(ラウンドフロー)	1-200			3台	職員組合 施設担当	ダイキン (室内機) FXYFP112L 850×850×298H 34.5kg
		冷房能力 11.2kW 暖房能力 12.5kW (冷房)	消費電力 0.088kW					
		冷媒管 9.5×19.1 ドレン管 25A (暖房)	0.093kW					
		ワイヤードリモコン、ドレンアップメカ他標準付属品共						

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-03	空調設備機器表(改修・撤去)	縮尺
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	

冷媒管サイズ表

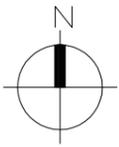
記号	液側 × ガス側 (mm)
A	9.5 × 15.9
B	9.5 × 19.1
C	9.5 × 22.2
D	12.7 × 25.4
E	12.7 × 28.6
F	15.9 × 28.6
G	19.1 × 31.8
H	19.1 × 38.1

空調機室内外連絡線共



凡例	
—	更新
- - -	既存再利用

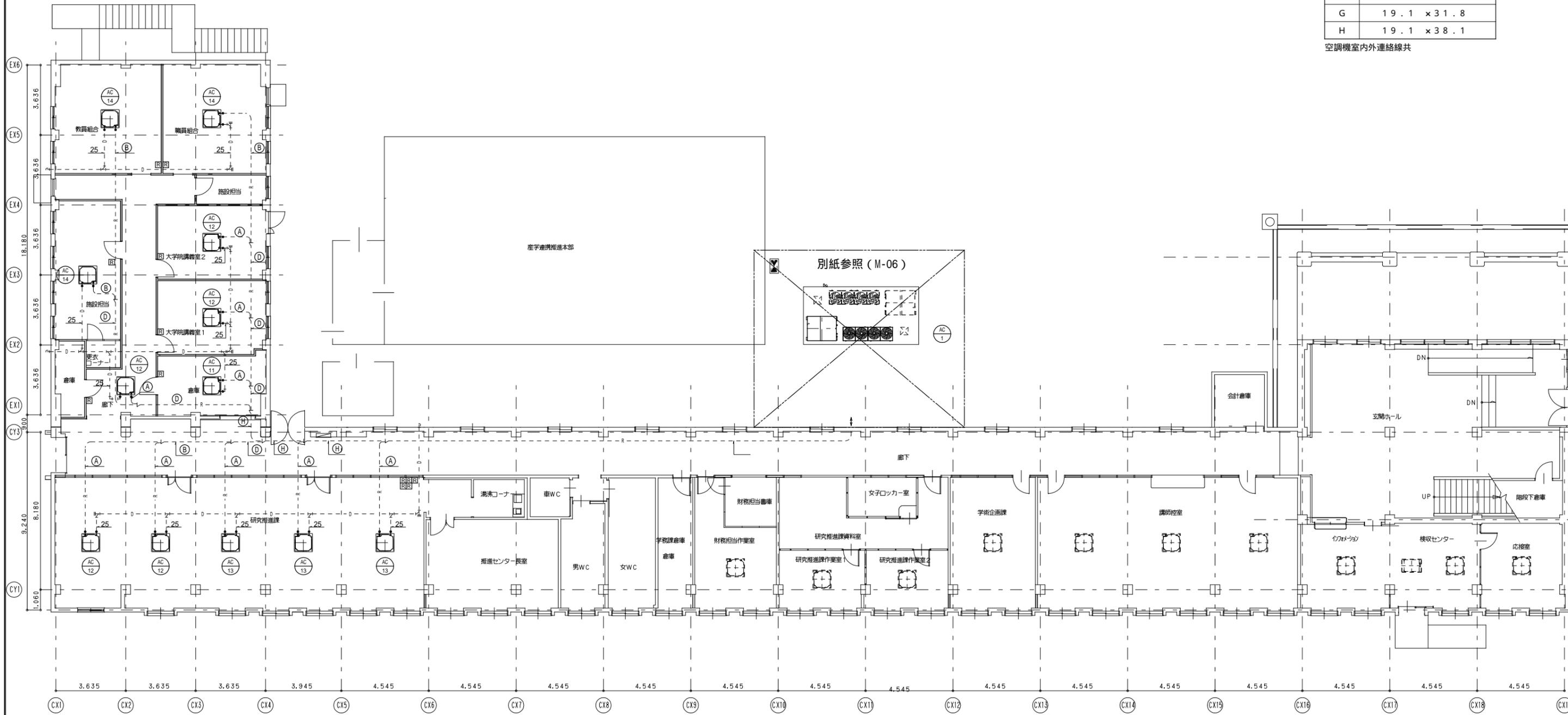
工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-04 空調設備平面図 (改修)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	



冷媒管サイズ表

記号	液側 × ガス側 (mm)
A	9.5 × 15.9
B	9.5 × 19.1
C	9.5 × 22.2
D	12.7 × 25.4
E	12.7 × 28.6
F	15.9 × 28.6
G	19.1 × 31.8
H	19.1 × 38.1

空調機室内外連絡線共



凡例

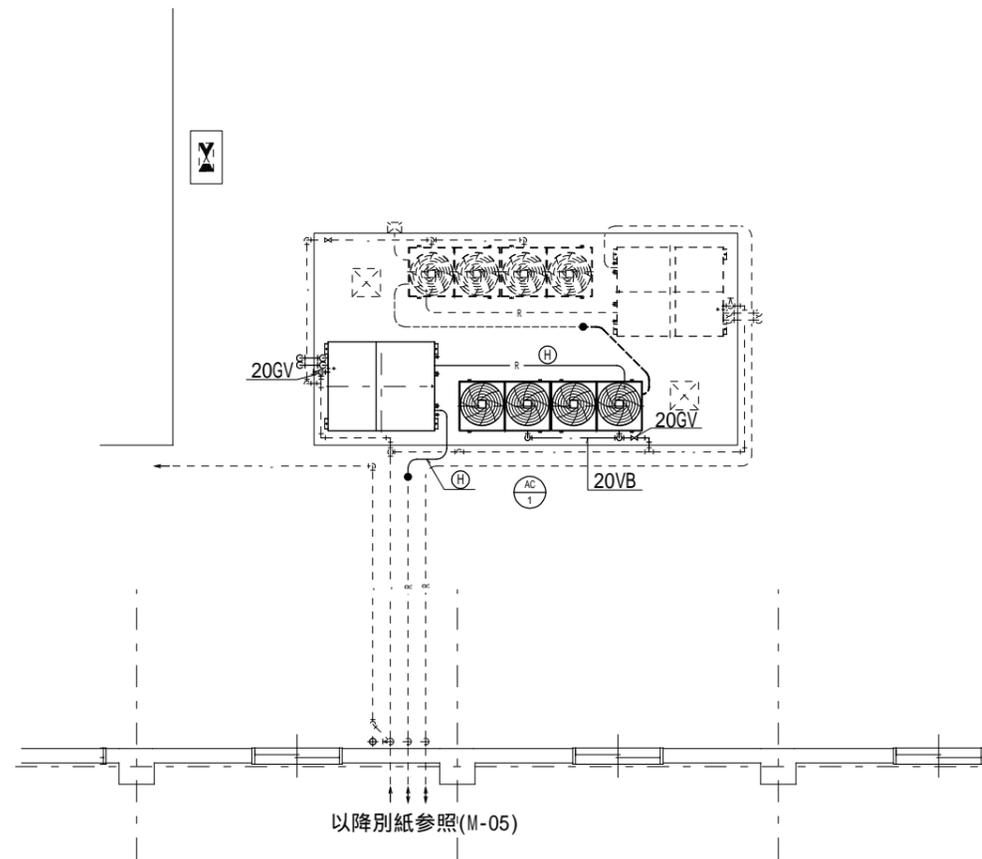
—	撤去
- - -	既存再利用

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-05 空調設備平面図 (撤去)	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	

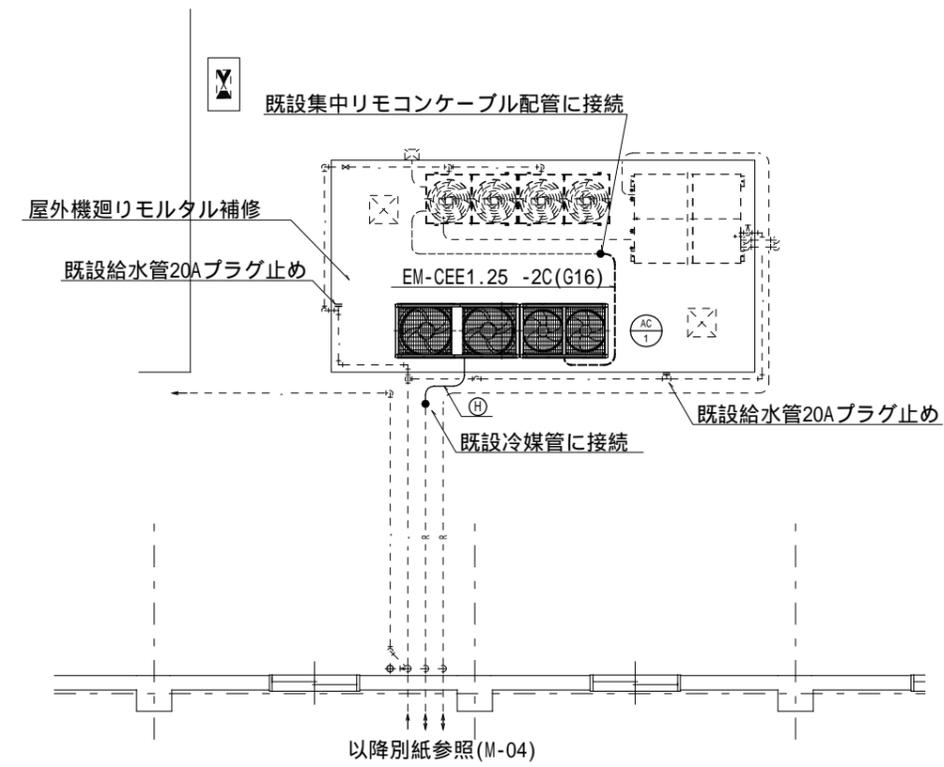
冷媒管サイズ表

記号	液側 × ガス側 (mm)
A	9.5 × 15.9
B	9.5 × 19.1
C	9.5 × 22.2
D	12.7 × 25.4
E	12.7 × 28.6
F	15.9 × 28.6
G	19.1 × 31.8
H	19.1 × 38.1

空調機室内外連絡線共



屋外機廻り撤去平面図 S = 1 / 100

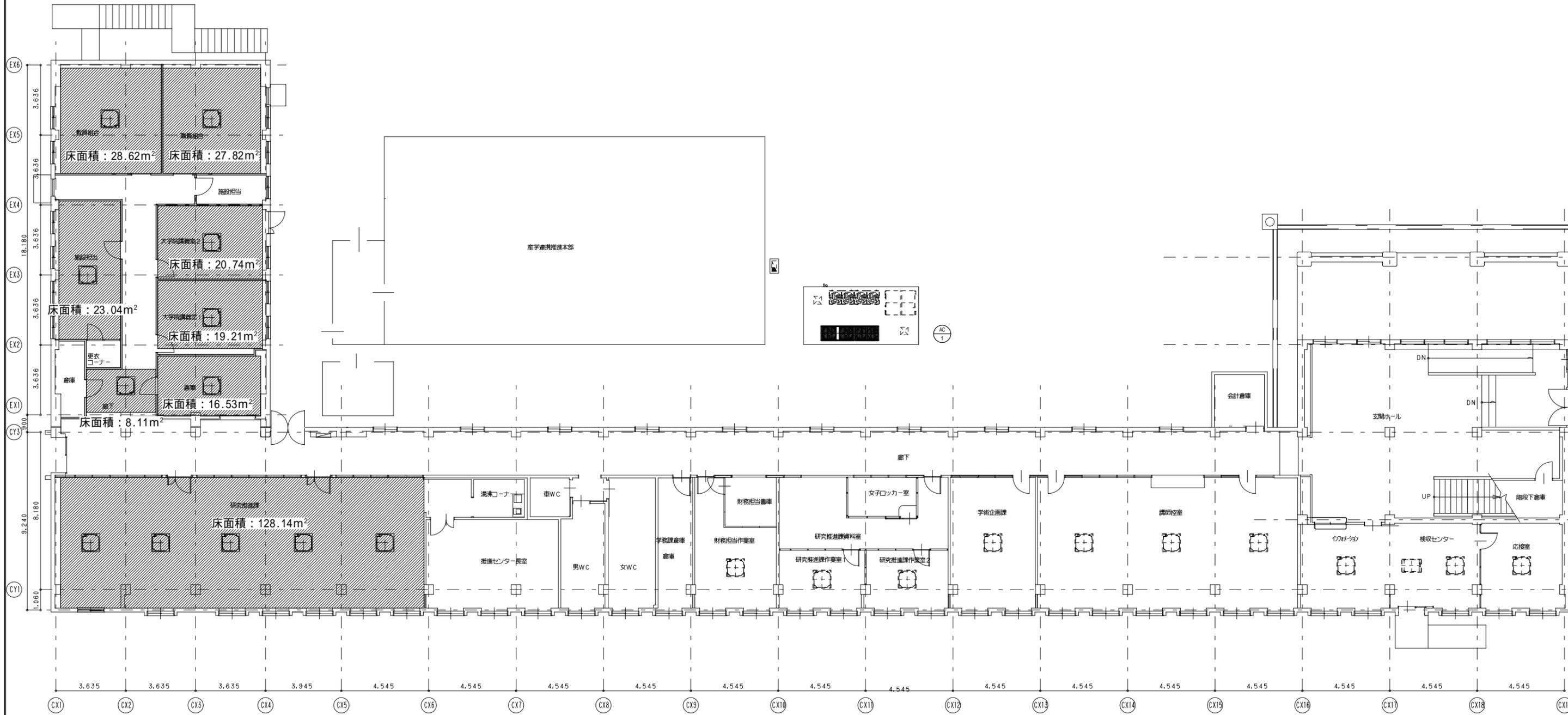
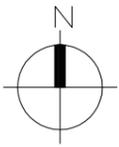


屋外機廻り平面図 S = 1 / 100

配管接続部及びプラグ止め部分は、SUSラッキング補修をする。  
集中リモコンケーブルは工事期間中、仮設接続する。

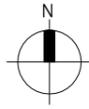
凡 例	
——	更新
-----	既存再利用

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-06 屋外機廻り改修図	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	



足場下：ベニヤ敷き・その他床面、建具等：シート養生  
空調機下：脚立足場

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	M-07	仮設計画図（参考）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	



(既) 低圧動力盤No.6-2

⑭ AC-1 (既)ELCB3P225/125A

⑮ AC-2 (既)ELCB3P225/125A

AC-1 (既)EM-CET 60

AC-2 (既)EM-CET100 E14 (ケーブルラック)

隣地境界線

AC-1 (既)EM-CET 60 (FEP50)

AC-2 (既)EM-CET100 E14 (FEP80)

第I講堂

YCUスクエア

以降別紙参照(E-02)

本校舎

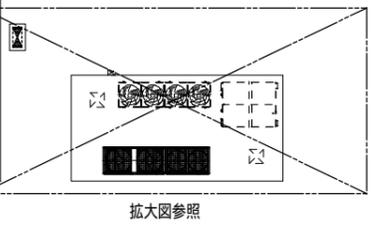
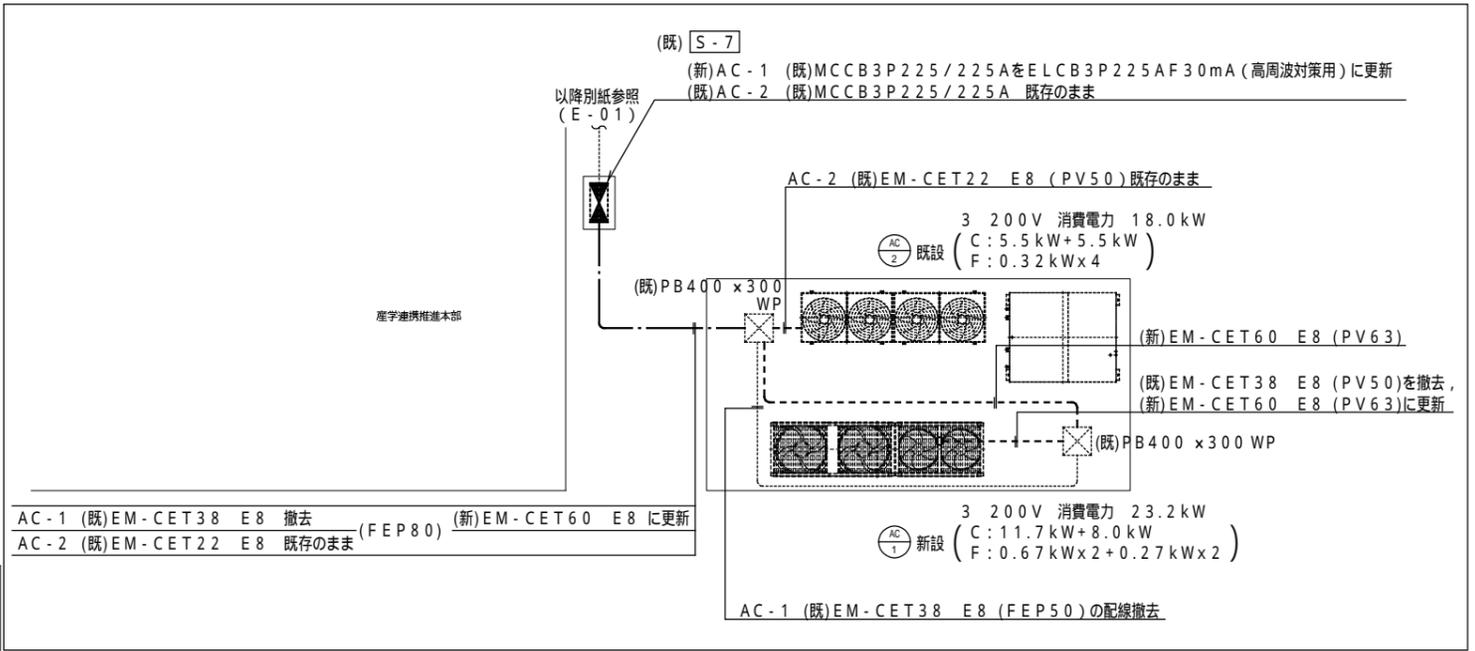
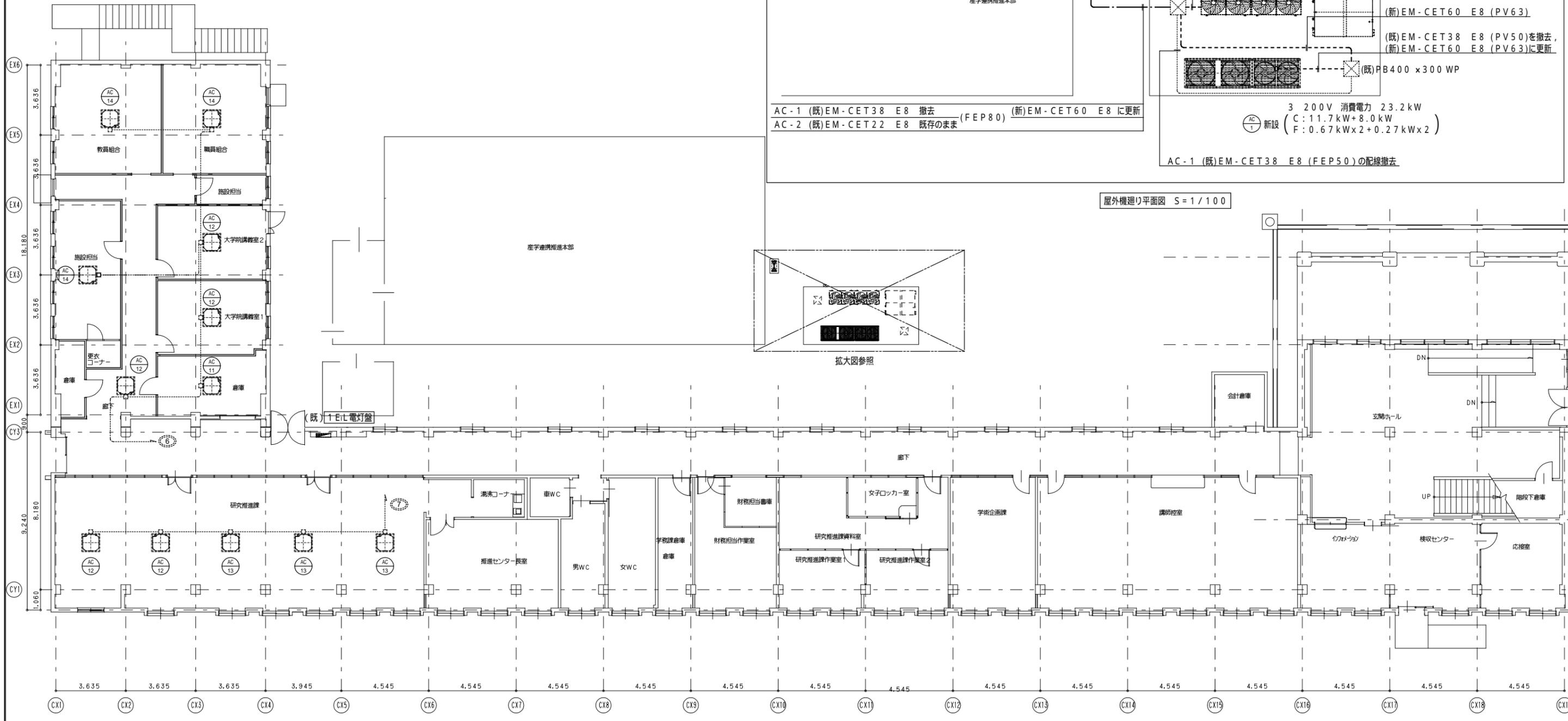
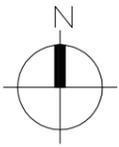
市大交流プラザ

凡例		
記号	名称	備考
□	ジョイントボックス	
■	既設プルボックス	WPは防水形溶融亜鉛メッキ仕上げを示す
⚡	動力盤	
■	既設電灯盤	
■	既設ハンドホ-ル	
----	露出配管	

配置図

今回対象施設

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	E-01 空調電源設備配置図	縮尺	A1:1/250 A3:1/500
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	



屋外機廻り平面図 S=1/100

本校舎平面図 S=1/200

・室内機の既設電源ケーブルを再接続。

工事名	横浜市立大学 本校舎研究推進部系統エアコン更新工事	年月日	令和3年9月
図面番号	E-02 空調電源設備平面図	縮尺	A1:1/50, 1/100 A3:1/100, 1/200
公立大学法人 横浜市立大学		企画総務部 総務課施設担当	